本時の学習 (見通し1) (6、7/11)

- 1 ねらい 学習課題への追究結果をお互いに紹介し合うことで、草津町の人々のくらしについての知識と追究の視点を共有化する。
- 2 準 備 教師 発表場所を見やすく書いた図、ポスターセッション用の学習カード 児童 発表用に調べたことをまとめたもの
- 3 展 開

学習活動	時間	学習への支援及び留意点	評価
1 本時の学習活動を確認する。	5		
自分だ	ちて	『調べたことを発表し合おう!	
から温:	鬼妻デールをような。 漫りが のたこと 色楽がもうみ。	同国神経験	■写真と何ないも (はていた。 かれいれない かれいれたの かないとない。
自分の関本による開除が	の調べたこと(ある)ない発表テーム域、等度	日分の調べたことと関係が	ELSEVE TO SECUL
(会 場)	10	て ともだちの発表を聞くことができましたか? (はい)	wx . <u>+</u> 25%。 夏 <u>*</u> 17%2

		感想を言うこと。 「へえ、そうだったんだ。」 ということがあったら、何 について調べたから分かっ たのかを考えて聞くように する(追究の視点)。	
3 ポスターセッションを行う。(前半) (発表の様子)	30	○聞き手は、新しく分かったことと、 追究の視点を学習カードにメモを取り ながら聞く。 ○仲間の発表を聞きながらメモをうをとれては、会話を とれない児童に対うに書いたら とアドバイスする。 ○発表の仕方等については、 ※視面室アドバイスする。 ○子供たちのやりとりを見ていて、 手の発表の仕方に調べたことがあるかどうかとりに でいることがあるかどうかといることがあるかどうに」と話す。 考えながら聞くように」と話す。	ウ③(資料活用) 取材、調査してきた過程や 結果を分かりやすく表現し てるかどうかを児童の発表 の様子から評価する。
4 ポスターセッションの後半部を行う。	30	○聞き手と発表者を交代して行う。 ○すべて聞き終わったら、学習カードの整理を行う。 ○発表に用いた作品はこのあと教室内 に掲示し、自由に見られるようにして おく。	ウ③(資料活用) 取材、調査してきた過程や 結果を分かりやすく表現し てるかどうかを児童の発表 の様子から評価する。
5 発表を聞いて特に印象に 残った草津町の人々のくら しの様子を話し合う。	10	○全体で集まり、「初めて知ったこと」や「いいなと思った着眼点(目をつけたところ)」を紹介し合うことにより、草津町に対する理解を広げるだけではなく、仲間の追究の視点も自分のものにできるようにしたい。	
6 本時の学習についての自己評価を行う。	5	 ○次の観点で自己評価する。 ・仲間の発表を聞いて草津町のことがこれまで以上によく分かったか。 ・仲間の調べる視点で参考になるものがあったか。 ・自分の調べてきたことと関係があるかどうか考えながら聞けたか。 ○次の時間はお互いの発表内容についての「関係あるなし調査」を行うことを伝えておく。 	イ② (思考・判断) 仲間が追究して生きた学 習課題についての発表から、草津町の別の特色 (面)を理解し、仲間が どんな視点から調べたか が分かったかどうかを、 学習ブリントの内容分析 を通して評価する。